

<地域の主要プロジェクト>

京都府では、府域の地域特性や資源をいかした戦略的な施策を推進する地域構想として、15の「みやこ構想」や3つの「京都プロジェクト」に取り組んでおり、中丹地域においては、以下に掲げる5つの地域構想を、この地域の主要プロジェクトとしても位置づけているところです。

このため、これらの構想に係る主な事業については、本計画の重点方策としても盛り込み、構想の実現に向けて取り組んでいくこととします。

I 京都舞鶴港ランドブリッジ構想【みやこ構想】

日本海側拠点港である京都舞鶴港を核として、関西一円とアジア・ヨーロッパ地域とを結ぶ壮大な物流ルート（国際ランドブリッジ）の形成をめざし、そのルートを開拓・構築しながら、国際フェリーや外航クルーズの基地化・エコポートの推進、管内3市への企業誘致の促進等に取り組みます。取り組んでいくこととします。

II 北京都ものづくり拠点構想【みやこ構想】

福知山市、舞鶴市、綾部市にある工業集積と、大学や高等専門学校等の人材育成機関をいかながら、府北部地域におけるものづくり産業の中核拠点の形成をめざし、企業活動の支援やイノベーションによる企業成長支援、新たな企業の誘致、高度なものづくり人材の確保・育成、産学公連携共同研究開発の促進等に取り組みます。

III 由良川里山回廊構想【みやこ構想】

中丹地域にある海、川、里、山、歴史、風土、伝統、文化等の資源をいかし、人、もの、情報等のネットワークの「回廊」の形成をめざしながら、自然や人々の絆を大切に、都市との交流の促進、農林水産業、ものづくり産業、観光等に取り組みます。

IV 「海の京都」づくり【京都プロジェクト】

古代より大陸との交流の窓口として栄えた歴史的背景や交通基盤整備の進捗をいかし、「海」というキーワードのもと、府北部地域が全国有数の競争力のある観光圏となることをめざします。

V 「森の京都」づくり【京都プロジェクト】

我々の生命を育む源でもある「森」をテーマにし、森・川・里の織りなす景観や環境・文化・生活を多面的な角度からとらえ未来に受け継ぐとともに、発信し、多角的に活かす地域となることをめざします。

参考 みやこ構想・京都プロジェクト

東京をはじめとする大都市に企業や人口が集中する一方、地方では、企業や工場の撤退に伴い、若者を中心に就業機会を求める人々の都市部への流出に歯止めがかからず、社会問題となっています。

特に、府北部地域や相楽東部地域では、人口流出が著しく、出生数の減少と相まって人口減少に拍車をかけており、地域の活性化、交流人口の増加を定住人口の増加につなげていくことが強く求められています。

このような中、京都府では、すべての地域がその個性や資源を最大限にいかせるような夢のある構想として15の「みやこ構想」を提示するとともに、府内4つの広域振興局がそれぞれ策定する「地域振興計画」の主要プロジェクトに位置づけています。平成26年度からは「みやこ構想」のセカンドステージが始まっており、構想ごとの成果をうまくつなぎ合わせることによって、相乗効果を発揮させ、地域の魅力や活力を高めていきます。

また、京都市域を舞台に京都府が展開する構想を「中期計画」に位置づけ、「中期計画」と4つの「地域振興計画」を一体的に推進することにより、府域の北から南まで、すべての地域が活力ある「みやこ」として輝くことができるような地域づくりを進めていきます。

更に、こうした「みやこ構想」の進展を踏まえ、広域的に地域のコンセプトを明確にした「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」づくりの3つの京都プロジェクトや、国家戦略特区等の取組を進めています。

